

サロン 登美ヶ丘茶論(8)

2020年8月



安倍9条改憲NO!
憲法を生かす全国統一署名
にご協力をお願いします。

3000万の
声を
届けよう!



三密にもひとつ加え秘密主義

お願いだ国滅ぼすな自民党

◆ 中国に憲法九条あったらな！

これはもう随分前の毎日新聞万能川柳欄に掲載された句ですが、これを読んで私は、これだ！と手を打つ気持ちでした。そうです、中国が憲法に九条を持ってそれを実践すれば尖閣諸島を争って日中両国で軍事力の展開競争をすることはない（中国の脅威ってのは口実でしょうが）。中国が（日本もそうだが）九条二項を現実のものにする方向に進めば、そのお金を福祉や教育に使えるのです。

北朝鮮、韓国、中華民国（台湾）、ロシア（ロシアの場合はザバイカル以东か極東に限定できそう）も憲法九条を持ってその実践に努めれば、東北アジアに恒久平和が実現して、やがてそれを全世界に及ぼすことが出来るでしょう。中国・北朝鮮に九条を！（Mさん）



◆ 日本も更なる武力を！？

香港、台湾に対する強硬な振る舞い、ウイグル自治区での行動を見ると、中国にとっては内政問題だとしても、力で押さえつけようとする姿は怖いものです。アジア、アフリカへの進出、尖閣諸島の海域での行動を見ても経済支援以外にも軍事力を駆使して更なる大国になろうとの強い姿勢を感じます。日本だけが他人事で済むはずはありません。自衛隊反対、丸腰でも！とは言えません。。。安倍政権にとっては都合の良い話ですね。

いつも思いますが、なんで権力者は国を大きくしたいのか？陣地取り合戦はゲームでしていれば良いのに！対戦はスポーツですれば良いのに！

節操無いトランプ政権、軍事力を全面に出す習政権の前には持たなかった不安を感じる時代です。共産党政権にしても大統領制の政権にしても一人の人間に大きな力を委ねるといふことの怖さを感じます。立憲主義の必要性を今ほど感じたことはありません。今や問題だらけの安倍政権が可愛く思える世の中になりました・・・いやいやいやいやけっして安倍政権を侮ってはいけません。ひそかにする賢く右傾化させようとの姿勢に利用されてしまいますから。

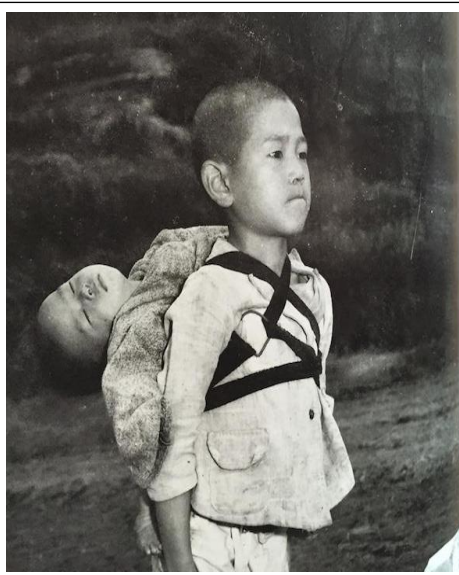
本当は軍拡競争反対！先制攻撃の手段を持つなんてもっての外と思っているのですが。武器の爆買いも反対です！（Fさん）

菌よりも金に目がむく自民党

関っていたら辞めると言った総理(のに)

閉会で胸なでおろす総理殿

答弁に困らぬように問う与党



焼き場に立つ少年

1945.8.9 原爆投下後に長崎の火葬場で撮影された有名な写真。亡くなった弟を背負い直立不動の姿勢で弟を茶毘に付す順番を待っています。硬い表情で目を凝らし涙も見せず立っていますが、口をきりと結ぶ様子からは、悲しさを必死で堪えている彼の気持ちが伝わって来よう。弟が茶毘に付される最中には炎を食い入るように見つめ始め、被爆のためでしょう、その唇には血が滲んでいたそうです。

2017年国連で122カ国が賛成して採択された核兵器禁止条約には核保有国・依存国は批准せず、安倍首相は聞かずに拒否し続けています。最近の世論調査では、72%の人々が「日本は条約に参加すべきだ」と答えています。言い訳と詭弁は不要、一刻も早く批准を！

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、羽谷(中登美 4-1 ローレル I -7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会

欄外左右に当会会員 My さんが日課にしておられる新聞スクラップのほんの一例を紹介します。皆さんもお気軽にご投稿を！

登美ヶ丘九条の会 世話人会
8月25日(火) 1:30 -3:30 PM
登美ヶ丘公民館
一度覗いてください。飛入歓迎！



◆ 戦後 75 年追悼―「阿波丸」事件とは？

「茶論」(7)で、登美ヶ丘九条の会世話人秋山氏より、当会関係者らも参加を予定していた奈良市西紀寺町の**璉城寺**(れんじょう寺)での「阿波丸遭難 75 周年慰霊祭」がコロナ禍のため中止となった経緯の説明がありました。現在秋山氏を中心にあらためて慰霊祭参加と周辺ハイキングを企画立案中です。コロナが一日も早く終息して、皆さま！来春には是非一緒に参加しましょう。

「阿波丸事件」と言っても、今では知る人も限られており、多数の人々からはすでにほとんど忘れ去られた事件でしょう。風化させないため戦後 70 年を機にこれを掘り起し報道したのは、「東京新聞」(2015/4/23 付)の記事「撃沈された商船 過失認めた米軍 戦後賠償は放棄」でした。事件の概略と遺族関係者の談話が綴られ、その中に璉城寺御住職の下間景補(しもつま けいほ)さんも結婚後義兄が事件の犠牲者であることを知ることになったこと、またご主人の没後御住職を継がれたことも、この記事に含まれています(ネットで検索できます)。概略次のような事件でした：

敗戦 4 ヶ月前軍に徴用された日本郵船の民間大型客船「阿波丸」(11,249t)は、日米協定によって、アジアの日本占領地に散らばっていた米・英・仏・蘭等の捕虜へ救援物資を届ける任務を負いました。そのため同船は連合軍側の攻撃、停船、臨検等の妨害なきことを保障された「安導券」を付与されました。当時中立国であったソ連ナホトカ港で救援物資を積み込み、神戸→門司→台湾・高雄→香港→サイゴン→シンガポール→スラバヤ→ジャカルタ→ムントクへ配送した後再びシンガポールへ戻り、引き上げる在留邦人を乗せて日本へ帰港するルート等が予め厳しく定められていました。

ところが 1945/4/1 深夜内地への帰途、同船は台湾海峡沖で米潜水艦によって撃沈され、乗員・乗客とも 2300 名が犠牲になりました。犠牲者のほとんどは民間人でした。戦後米国も「過失」を認めましたが、米潜水艦長には戒告処分のみ、吉田内閣は占領下における米からの「援助」に感謝するとして賠償責任を放棄、日本政府は犠牲者一人当たり 7 万円の「見舞金」の支払いだけで済ませてしまいました。政府が発表した公式記録はなく、今日も政府は死者数についても個人情報守秘義務を盾にして公開しない姿勢を貫いています。1977 年中国が阿波丸捜索に着手し、300 柱以上の遺骨と 600 点余の遺品を引き上げ、遺骨は東京芝の増上寺と奈良市の璉城寺へ分骨されました。

なぜ「安導券」を持つ同船が無警告で撃沈されたのか？なぜほとんどの犠牲者が民間人だったのか？…等、真相は闇の中、迷宮入り事件です。事件の真相に迫る試みに挑戦したのが浅田次郎著「シェエラザード」(講談社文庫)です。中国の傀儡政権死守に絡んで船は秘かに協定ルートを外れ上海に向い、満載の民間人を盾に危険な海域を強行突破する狂気の日本軍の謀略策が浮かび上がってきます。浅田氏には、清朝末期から満州国崩壊・日本敗退までを描いた一大絵巻「蒼穹の昴」→「珍妃の井戸」→「中原の虹」→「マンチュリアン・リポート」→「天子蒙塵」の連作がある。戦後 75 年、「シェエラザード」を含めて、これらは幾多の戦争犠牲者を追悼するに相応しい作品群です。(石田)

あらためて憲法九条を！

『日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない』

8 月は平和の月です。6 日、9 日、15 日、私は 8 月になると何度も日本国憲法第二章『戦争の放棄』第九条をつぶやいております。これほど具体的にはっきりと戦争をしないと誓った国の取り決め、憲法は世界中にどこにもありません。どう読んでもここから他国のミサイル基地を破壊できる軍隊や武器を持つことが許される、憲法に違反しない、とは思えません。

私は広島県の被爆者です。8 月は身体が重い、じっとしていたい、祈りの月ですが、がまんができません。「なんて国だ、この国は！！」広島、長崎の原爆の生き残り 136,000 人が叫びます。

世界核兵器禁止条約批准に日本政府は動け、国、広島県、市は、被爆者と国民の意向に沿った行動をとれ！黒い雨訴訟控訴するな！今ある憲法さえ守ろうとしない「なんて国だこの国は！」(秋山)